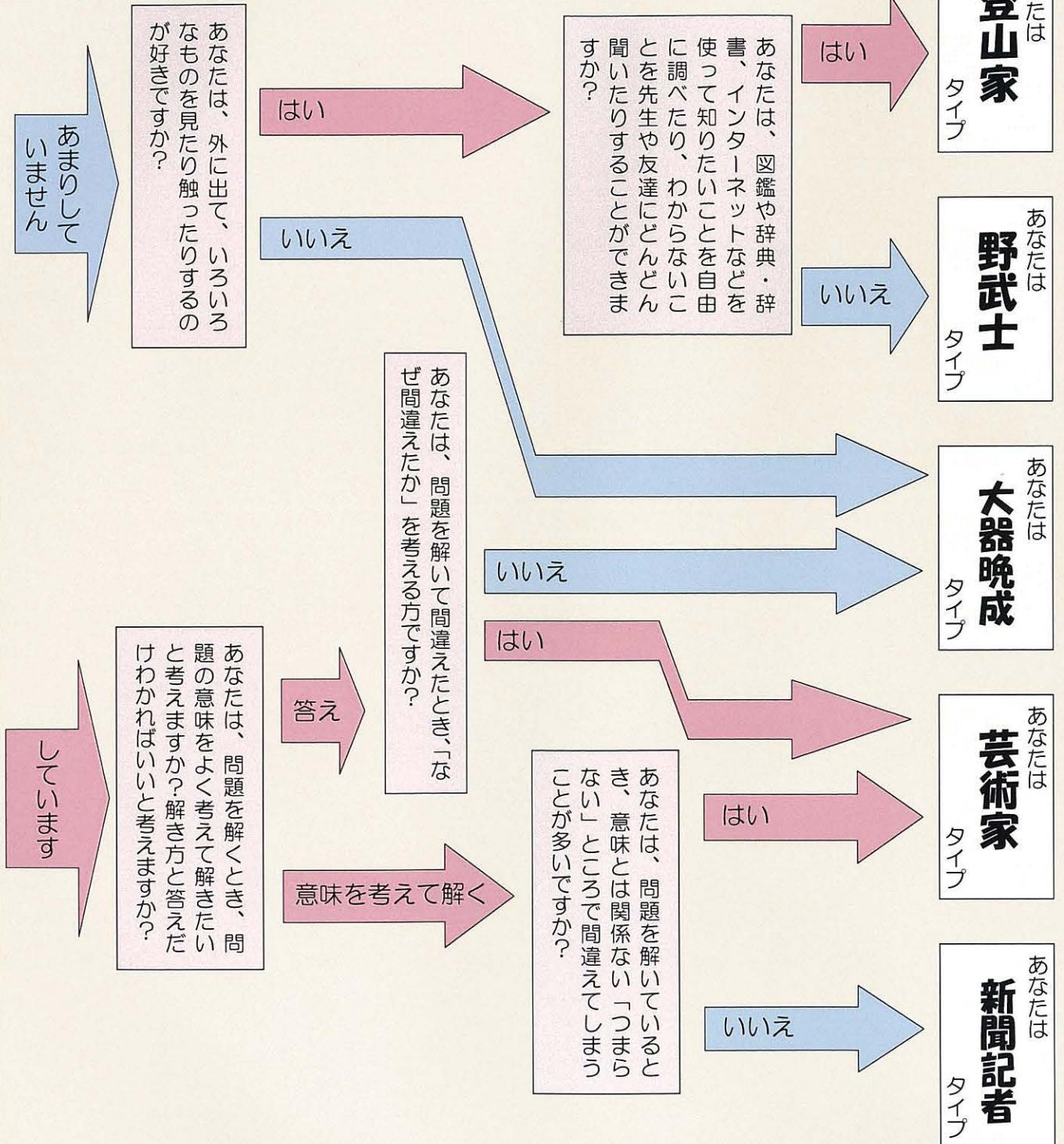


家庭学習の手引き 高学年向け

タイプでわかる！ぴったりな学習スタイル

こんなタイプのあなたにはこんな学習がぴったり！

スタート！ あなたは、家庭学習をしていますか？



あなたは、いろいろな物をよく見て、どんどん調べてみましょう。できれば、「見るのは苦手だけど、調べたりまとめたりするのは得意だよ」という人を誘って、一緒にやってみましょう。発見したことや調べてわかったことは、どんどん人に知らせるようにするとよいでしょう。書いてまとめたものを読んでもらってもいいでしょうし、書くのが苦手な人は、お話をすると、先生や、書くのが得意な友達が、まとめ方を教えてくれるでしょう。

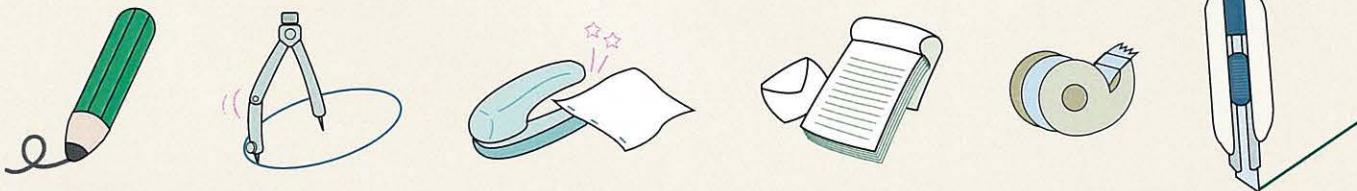
あなたは、自分が見たこと・触ったもの・やってみたことの中で「不思議だな」「どうなっているのかな」と思ったことについて、まずは先生やおうちの人、友達などに聞いてみましょう。そして、図鑑や辞典・辞書などを使って調べる方法を教えてもらいましょう。できれば、一緒に調べてくれる人を見つけて、お話をしながら調べができるとすてきですね。わかったことは、ノートに書いたり絵に描いたりしてみましょう。書いたり描いたりするのが苦手な人は、写真を撮って貼り付けたり、パソコンのワープロソフトを使ってみてもいいかもしれませんね。

あなたは、あわてずに、ゆっくりのんびりやっていきましょう。まずは、おうちの人と一緒に、いろんな体験をたくさんしてみましょう。料理、キャンプや野外活動、カッターやナイフを使った工作、絵本の読み聞かせをしてもらうなど、手と目と足、身体全体を使った体験をたくさんしていきましょう。そうやってたくさんしたことの中から「面白いなあ」と思ったことについて、いろんな人に聞いたり調べたりしてみましょう。それがあなたの「学び」の始まりです。

今までのテストや問題集などを見直して、自分がどんなところで間違えているのか確かめてみましょう。うっかり間違いの多い人は、何を忘れているのか、どんなことに気をつけられないのかをよく考えて（わからないときは、先生にアドバイスをもらいましょう）、紙や付せんに書いて自分の机にはっておきましょう。それを見ながら問題を解いて、気をつける練習をするのです。担任の先生がいいと言ってくれたら、教室の机にもはってみましょう。

問題の意味をよく考えずに間違えてしまうことが多い人は、その問題が何を聞いているのか、そのことについて学習したことはどんな意味だったのかを、教科書を見直してもう一度確かめてみましょう。それでもよくわからなければ、先生に質問して、絵や図などを使いながら説明してもらうとよいでしょう。

あなたは、いろいろな本や新聞・雑誌などを読んで、興味・関心を広げてみましょう。目を引いた記事や内容などがあったら、ノートに書き抜いたり、切り抜いてノートに貼ったりして、思ったことを一言書き添えておくのもいいでしょう。また、わからないことや思うことがあったら、おうちの人や友達、先生とお話をしたり、自分の疑問や意見を文章にまとめて、いろんな人に読んでもらったりしてみましょう。



**先生と 相談しながら、
学習することを 決めよう！**